



NPO法人

ボランティアインフォ

ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアをしてほしい人を
ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアをしてほしい人を

第6期（2017年4月～2018年3月） Annual report

CONTENTS

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 ボランティアインフォについて | 6 この1年の定量的な成果 |
| 2 ボランティア情報事業 | 7 この1年の定性的な成果 |
| 3 ボランティアコーディネート事業 | 8 メディア掲載 |
| 4 ボランティア促進・啓発事業 | 9 最後に |
| 5 その他の活動/助成金 | |

NO
VOLUNTEER,
NO LIFE.

● ミッション

ボランティアを求める人とボランティアをつなげる

● 活動方針

- 1、ボランティアインフォは東日本大震災関連のボランティアニーズがゼロになるまで、期限を決めずに活動します。ボランティアを求める人がいる限り、私たちはボランティア情報の収集と発信をし続けます。
- 2、日本のボランティアをもっとカジュアルに
- 3、日本のボランティア人口を増やす
- 4、日本のボランティアの裾野を広げる
- 5、2020年の東京オリンピック・パラリンピックのボランティアをブームで終わらせない

● 事業内容

information

ボランティアを求めている人と、
ボランティアを情報でつなぎます。

ボランティア情報事業

東日本大震災のボランティア情報の収集と配信に加え、震災関連以外のボランティア情報の収集及び配信を実施します。収集したボランティア情報はデータベースとしてAPIで配信しています。配信した情報はYahoo!ボランティアなどのサイトに同時に表示されます。

coordination

企画段階からボランティア募集、
現場でのコーディネーションまで実施します。

ボランティアコーディネート事業

イベントなどでボランティア募集をする際、企画から募集、当日のコーディネートまで実施します。集まったボランティアのコミュニティ構築のお手伝いも実施します。

diffuse

ボランティアをもっとカジュアルになるように、
ボランティアするもっと人が増えるように。

ボランティア促進・啓発事業

日本のボランティア人口を増やすやめに、またボランティア活動をもっとカジュアルにするための普及活動や啓発活動を行います。

● 運営体制

代表理事： 北村孝之
理事： 及川多香子
理事： 山田朱実
監事： 村松淳司（東北大学教授）

事務局長： 田屋由佳利

● 事業概要



ボランティア募集情報の収集と発信を通じて、ボランティアを求めている人とボランティアをつなぐ事業です。



● 東日本大震災のボランティア募集情報の収集

ボランティア募集情報の収集はwebを中心に随時行っています。また募集团体からの応募フォームを通じた投稿も随時募集しつつ、1度掲載した情報は定期的に更新されていないか確認を行い情報の鮮度を保っています。

● 東日本大震災のボランティア募集情報の発信

収集したボランティア情報をデータベースに集約し、APIにて配信することによってさまざまなサイトでボランティア情報が表示されます。

ボランティア情報が表示されるサイト： ボランティアインフォ
Yahoo! ボランティア など

● 東日本大震災以外のボランティア情報

ボランティアインフォでは、東日本地震後に構築したボランティア情報の流通の仕組みやノウハウを活かして、東日本地震以外の災害発生時にもいち早くボランティア情報を流通させることで、ボランティアを求めている人のもとにボランティアをお繋ぎしています。

- 熊本地震：2016年4月16日に発生。
2017年10月19日まで月1回ペースで情報発信



● ボランティア案内所

Webでボランティア情報を発信するのみでなく、フェスなどのイベントでボランティア情報の案内を行なっています。意識せず気軽にボランティア情報に触れていただける場として、積極的にブース出展を行なっています。



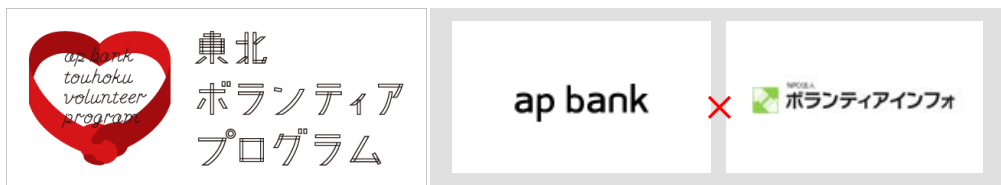
● earth garden “夏” 2017

7月1日（土）と2日（日）に代々木公園で開催されたearth garden “夏” 2017に東北ボランティア案内所/Peace On Earthブース/Reborn-Art Festivalこじか隊ブースを出展してきました。

● Peace On Earth2018

3月11日（日）に東京の日比谷公園で行われた、311東日本大震災 市民の集いPeace On Earth。昨年に引き続き、東日本大震災のボランティア情報、ボランティアインフォがコーディネートを行う情報を、ボランティア案内所として出展しました。

● ap bank 東北ボランティアプログラム



人手が必要な被災地と、自分の時間を使って何か東北のために活動したいと思っている方をつなぐプログラムです。

ボランティア先の紹介を行うだけでなく、ボランティアに向かう交通費を補助し、できるだけ多くの気持ちある人を被災地につなげられるよう、支援を行います。

<http://apfj.apbank.jp/volunteers/>

→2017年5月に
終了しました

● 事業概要



ボランティアを募集する団体の方ボランティアメニュー作りや、より一層ボランティアが集まりやすくなるように一緒に企画を行い、現場でのコーディネートまでを一貫して行う事業です。これまでの活動の中で蓄

積したボランティア活動におけるノウハウを活かして、ボランティア活動する場を創造することで、ボランティア人口の増加を目指します。

● 事業沿革

2012年に宮城県みちのく湖畔公園で開催された「AIR JAM 2012 in東北」で初めてボランティアコーディネートを実施。



2013年度からは宮城県を中心に復興支援イベントから商業イベントまで幅広くコーディネートを展開し、以降東北をメインに全国的に音楽イベントやスポーツ現場でのボランティアコーディネートを実施しています。

	イベント数	ボランティア数
2012年	2回	316人
2013年	10回	608人
2014年	21回	1,715人
2015年	28回	2,118人
2016年	31回	2,284人
2017年	18回	4,168人



● コーディネート実績

● 被災地支援イベント

GAMA ROCK (46人)、石巻たからいち (12人)

● 音楽イベント

ARABAKI ROCK FEST.16 (207人)、オハラブレイク'17夏 (39人)、
 Reborn Art Festival 2017×ap bank fes (210人)、
 定禅寺ストリートジャズフェスティバル (21人)、
 GOOUT MUSIC CAMP (83人)、Hi-STANDARD THE GIFTツアー (75人)



● スポーツイベント

Color Me Rad 宮崎 (47人)
 宮城 (87人)
 静岡 (21人)
 茨城 (67人)
 東京 (87人)

仙台国際ハーフマラソン関連イベント (23人)
 ツール・ド・東北 (400人)



● その他

GOOUT CAMP猪苗代 (45人)、CHUMS CAMP 2017 (24人)、
 TINY GARDEN FESTIVAL (110人)、Reborn Art Festival 2017 (2,534人)、
 TOKYO OUTDOOR WEEKEND 2018 (30人)



● ボランティア教育

昨年度に引き続き、宮城県多賀城高等学校において、教育機関における既存のボランティア体験を超えたボランティアプログラムを実施しました。

・ ボランティア教育事業とは？

学生自身がボランティア活動を通して『地域課題』を発見し、情報発信や周囲の巻き込みを行いつつ、「ボランティア」という手法を使って主体的に地域課題の解決を目指す教育プログラムです（下記6STEP）。

STEP1 いくつかのボランティア募集情報の中から興味あるものに参加する

STEP2 ボランティア活動の感想を共有する（ワークショップ形式）

STEP3 自身の周りにおける社会課題を見つける（ワークショップ形式）

STEP4 発見した課題の解決方法を考え、仲間を集める（ボランティア募集）

STEP5 周囲を巻き込み一緒に課題を解決する（ボランティア活動）

STEP6 フィードバック（ワークショップ形式、発表会）

- ・ 実施期間：2017年4月－2018年3月
- ・ 実施校：宮城県多賀城高等学校（授業）
- ・ 連携団体：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンターほか
- ・ 参加者数：17名



・ 資金調達の取り組み

ボランティア教育事業の資金調達力強化のため、子どもサポート基金から助成を受け、寄付付き商品の販売を開始しました。



● ボランティアストーリー <http://story.volunteerinfo.jp/>

ボランティア活動を行っている方にインタビューをして、1人1人のボランティアストーリーをwebを中心に配信しています。

ボランティア活動に参加した動機や、活動をして良かったこと、参加した後で変わったことなどを聞き、ボランティアストーリーとして配信することで、少しでも多くの方に共感していただき、そして「自分でもできるかな」「ボランティア行ってみようかな」と思っていただけの人を増やしていきます。 サイトリリース：2013年11月11日



・取材を受けた 千葉さんの声

このような取材を受けて、発信するお手伝いをする中で、僕が楽しいと思っているスポーツボランティアのことを伝えられたらと思い取材を受けました。同世代のボランティアが増えたら嬉しいです。

<http://story.volunteerinfo.jp/story032/>

● 中高生スポーツボランティア育成講座

<http://sv.volunteerinfo.jp/>

2020年東京オリンピックにむけて、「スポーツコミッションせんだい」「SV2004」さんと中高生スポーツボランティア育成講座を実施しました。

- 中高生スポーツボランティア育成講座とは？
宮城県内の中高生を対象に、講座とベガルタ仙台や仙台89ERS、グランディ・21などの協力団体でのボランティア活動体験を通じて、スポーツボランティア経験者に育成してプログラムです。
- 活動対象：宮城県内の高校生、中学生
- 研修場所：仙台市体育館2階研修室ほか
- 体験先：楽天イーグルス、ベガルタ仙台・レディース、大相撲、仙台89ERS、ベルフィーユ仙台、W杯バレーボール他
- 参加者数：70人



- **仙台スポーツボランティアプロジェクト** <http://sendai.sportsvolunteer.info/>
 スポーツボランティアの方々が、より活動しやすい環境づくりや活動ノウハウの体系化を通して、仙台・宮城地域のスポーツボランティアを盛り上げるプロジェクトです。

そして、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、及びその後を見据え、仙台・宮城地域においてスポーツボランティアを文化として根付かせるとともに、将来的には仙台・宮城発の先進的なボランティアモデルとして全国にも広めていくことを目指します。

- ・プロジェクトチーム：ボランティアインフォ、SV2004、仙台大学
- ・協力：スポーツコミッションせんだい、仙台プロスポーツネット
- ・助成：仙台市「協働まちづくり推進助成事業モデル事業」
- ・活動内容：仙台スポーツボランティア情報の発信
 仙台スポーツボランティア研修会の開催
 →JSVNと連携して初級研修会2回、リーダー研修会1回を開催



スポーツボランティア研修会
初級講座 参加者募集!

11.11 (SAT) 13:00-18:00
 会場：東北大学片平さくらホール
 (仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学片平キャンパス内)

●募集人数：15名(定員がいっぱい場合は増募します)
 ●参加費：研修費(仙台市立片平公民館利用)は別途で必要です
 ●研修料：2,000円(税込) ※研修：1,000円(税込)

●研修内容：研修費が研修料とは別です。研修料は別途必要です。
 ●研修料：研修費が研修料とは別です。研修料は別途必要です。

●研修料：研修費が研修料とは別です。研修料は別途必要です。
 ●研修料：研修費が研修料とは別です。研修料は別途必要です。

Sendai Sports VOLUNTEER Project

お問い合わせ：022-261-1111 (受付時間：平日10:00-17:00)

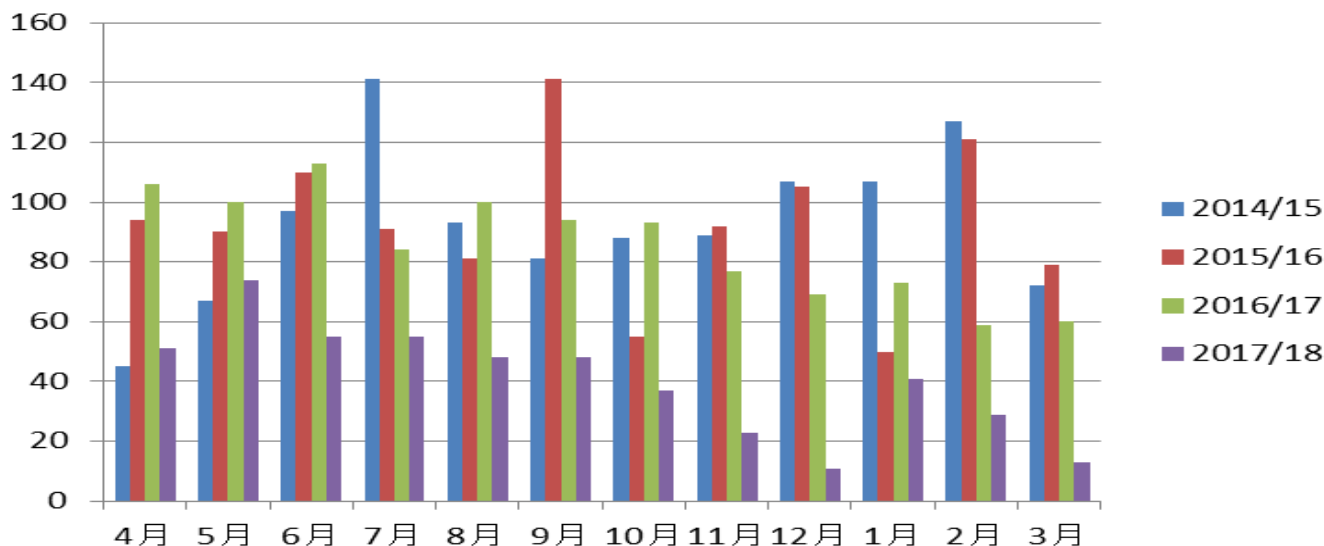
http://sendai.sportsvolunteer.info/program

その他の活動/助成金

- **登壇イベント**
 - ・多賀城高校「ボランティア活動について」 (4/27)
 - ・STAND UP SUMMIT 2017「復興セッションテーブルファシリテート」 (8/8)
 - ・石巻青年会議所10月例会「チームビルディング」 (8/10)
- **助成金**
 - ・東日本大震災復興支援財団「子どもサポート基金」
 多賀城高校で実施しているボランティア教育プログラムの資金調達の仕組みづくりのために活用させていただきました。
 - ・復興庁「新しい東北連携セミナー制度」
 毎年3月11日に日比谷公園で開催している「311 未来へのつどい Peace On Earth」で、東北の今を伝えるトークステージを実施し、東北からのゲストスピーカーの方への交通費や謝礼の支給に活用させていただきました。

● ボランティア情報事業

・ ボランティア情報掲載数 : **485件** (平均40件/月)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2014/15	45	67	97	141	93	81	88	89	107	107	127	72
2015/16	94	90	110	91	81	141	55	92	105	50	121	79
2016/17	106	100	113	84	100	94	93	77	69	73	59	60
2017/18	51	74	55	55	48	48	37	23	11	41	29	13

東日本大震災関連のボランティア募集情報は年々減少している中、大きな災害がなかったため掲載数は昨年度の半分程度となった

・ 東日本大震災以外のボランティア情報

1箇所 : 熊本地震

・ ボランティア案内所

2箇所 : earth garden "夏" 2017、
Peace On Earth2018



● ボランティア情報事業

・ ap bank東北ボランティアプログラム

－ 募集团体数：7団体

socialTOUR（宮城県東松島市）

三陸ひとつなぎ自然学校（岩手県釜石市）

キャンナス（宮城県石巻市）

日本カーシェアリング協会（宮城県石巻市）

ピースボートセンターいしのまき（宮城県東石巻市）

ともしびプロジェクト（宮城県気仙沼市）

東北ファミリア（宮城県南三陸町）

－ ボランティア参加者数：2人

● ボランティアコーディネート事業

・ 年間参加ボランティア人数：4,168人

・ 年間ボランティアコーディネートイベント数：18箇所

● ボランティア促進・啓発事業

・ ボランティアストーリー 記事数：1本

・ ボランティア教育 プログラム実施：1箇所

寄付付き商品販売額：221,826円

・ 中高生スポーツボランティア育成講座：70名参加

・ 仙台スポーツボランティアプロジェクト 初級研修会（11/11）：100人

初級研修会（2/25）：72人

リーダー研修会（3/4）：43人

● その他

・ ブログでの情報発信数：50記事（平均：4.2記事/月）

● ボランティア情報事業

- ・ 東日本大震災のボランティア情報の特集を組みました
ゴールデンウィーク特集、夏休み特集、311周辺のイベント特集 など

● ボランティアコーディネート事業

- ・ Reborn Art Festival 2017で2,534人のボランティアコーディネートを実施しました

数年前からロケハンなどの準備を始めたReborn Art Festival 2017。夏に石巻を舞台に51日間の芸術祭が開催され、全国から多くのボランティアが参加してくれました。ボランティア募集システムの構築から毎日の活動の流れ、各ポジションのマニュアル作成、住環境の整備などを実施しました。



- ・ 商業イベントのコーディネートで収益を得られるようになりました
昨年引き続きボランティアインフォの収益の柱としてボランティアコーディネート事業は欠かせない存在になっています。
徐々にではありますが収益率を意識しつつ効率化を行うことで、この事業をより一層事業の柱として確立していきます。
- ・ 担当の分散ができるようになりました
1人が全ての案件を担当するのではなく、メンバーがそれぞれに担当を持ち、最後まで責任を持って進めることができるようになってきました。
これにより新規イベントのコーディネートも実施できるようになりました。

● ボランティア普及促進事業

- ・ ボランティア教育を授業として実施しました
昨年度より多賀城高校で行っているボランティア教育プログラムを、「**総合的な学習の時間**」の一環で行いました。
- ・ ボランティア教育事業の資金調達力強化に取り組みました
子どもサポート基金の助成のもと、多賀城高校でボランティア教育プログラムの資金調達力強化のために、**寄付付き商品**を開発し販売を開始しました。
- ・ 仙台スポーツボランティアプロジェクトを立ち上げました
2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が迫る中、仙台でのスポーツボランティアを盛り上げ、仙台を日本で一番スポーツボランティアが盛んな街にしていくプロジェクトです。
仙台市の助成金をいただき、SV2004と仙台大学の3者協働で実施するプロジェクトです。
webサイトでの情報発信を行いスポーツボランティアをする人を増やし、スポーツボランティア研修会を開催してレベルアップを行なっています。



メディア掲載

- ・ TBSラジオの「荻上チキ・Session-22」に出演 (2017/4/14)
- ・ フジテレビ「ぼくらの東京マラソン2018だから、走る。みんなの情熱42.195km」で代表の北村が取材されました (2018/2/25)

東日本大震災後の活動からはじまったボランティアインフォは多くの方に支えていただき、2012年4月にNPO法人になり、NPO法人ボランティアインフォとしての第5期の活動を終えることができました。この場をおかりして、お世話になっている皆さまに御礼申し上げます。

東北で復興支援をメインに活動している団体にとっては、人手がないことを前提として活動をどう長く継続していくかが問われている時期になっていることが実感できますが、そういった時期だからこそボランティアを必要としている方の声をボランティアインフォが丁寧に拡散して、ボランティアしたい人をつないでいきたいと思っております。

ボランティアコーディネーター事業では、石巻で51日間のアートフェスを開催するというReborn Art-Festival 2017に企画段階から関わらせていただき、51日のアートフェスを支えるボランティア募集と集まってくくださった方でいかに円滑に運営をしていくかを考え抜いた夏となりました。

ボランティア促進・啓発事業では仙台市の助成金をいただき、「仙台スポーツボランティアプロジェクト」を立ち上げました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックのボランティアをブームで終わらせないよう、新しいスポーツボランティアの文化を仙台から創っていきたく思っています。

今後もボランティアインフォの活動にご参加いただいた方とのつながりを大切にしつつ、もっとボランティアがカジュアルに、そしてボランティアする人が増えるように活動を行っていきますので、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

NPO法人ボランティアインフォ 代表理事
北村 孝之

NO VOLUNTEER, NO LIFE.

● 団体概要

正式名称	特定非営利活動法人ボランティアインフォ
設立	2011年5月15日（2012年4月2日NPO法人認可）
住所	宮城県仙台市青葉区本町1-12-1 2GMビルディング
URL	http://volunteerinfo.jp
代表理事	北村孝之
理事	及川多香子
理事	山田朱実
監事	村松淳司
決算期	3月31日